

公益社団法人 NEXT VISION & 認定 NPO 法人タートル共催イベント
「職場ぐるみで取り組む社内のアクセシビリティ」
～見えない、見えにくい社員も共に働く環境の実現をめざして～

視覚障害者と共にインクルーシブな職場を実現している3つの企業がその取り組みを公開

2023年3月5日 10時 オンライン開催

公益社団法人 NEXT VISION（兵庫県神戸市、代表理事 三宅養三）と、認定 NPO 法人タートル（東京都新宿区、理事長 重田雅敏）は、2023年3月5日（日）に無料オンラインイベント「職場ぐるみで取り組む社内のアクセシビリティ～見えない、見えにくい社員も共に働く環境の実現をめざして～」を開催いたします。本イベントでは、視覚障害者が働きやすい環境を実現するための、企業内の取り組みにスポットを当て、インクルーシブな職場を実現している資生堂グループ、日立製作所、ラックで働く視覚障害者と、同じ企業で働く晴眼者が登壇し、職場での取り組みやその成果、互いの気づき等についてご披露いただきます。視覚障害当事者だけでなく、企業の人事、HRのご担当、システム開発や管理者の方のご参加を歓迎いたします。

「理想を現実に変える」障害者も共に働くインクルーシブな企業に迫る！

日本の視覚障害者の数は、30万人とも、潜在的には200万人とも言われています。その中で、民間企業に就労している視覚障害者は13,697人（令和4年 障害者雇用状況の集計結果：厚生労働省調べ）とごわずかとなっています。

事故や疾病で、人生半ばで視覚障害者になるケースは少なくなく、さらに労働人口の高齢化が進む中、企業が視覚障害者となった社員への対応の必要が生じることも考えられます。しかし、法令のもと、企業は障害者に対する対応が求められますが、それに対してどう対応すればよいかといったノウハウを持つ企業は少ないのが現状です。

一方、現状では、見えない・見えづらいというハンディキャップを抱える視覚障害者の就労数はまだ多くないものの、ICTによる情報アクセシビリティの進化に伴い、その職域は広がり始めています。まだまだ視覚障害者にとって使いにくい業務アプリや外部サービスは多く存在しますが、自ら工夫し、周りとも協力しながら活躍している人も増えています。

今回のイベントでは、企業の一員として専門知識を生かしながら生き生きと働く視覚障害者と、同じ企業で働く晴眼者が登壇し、チームとして働く上での取り組みや、工夫、互いの気づきなどをご披露いただきます。そのエピソードは、広く社会が目指すべき、「持続可能な共生社会」への指針となることでしょう。

「職場ぐるみで取り組む社内のアクセシビリティ」について

【開催概要】

イベント名：「職場ぐるみで取り組む社内のアクセシビリティ」～見えない、見えにくい社員も共に働く環境の実現をめざして～

開催日時：2023年3月5日（日）10:00～12:00

開催形式：オンライン（Zoom）※後日アーカイブ配信を予定

参加費：無料

定員：300名

共催：公益社団法人 NEXT VISION、認定 NPO 法人タートル

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人タートル 担当：大橋、熊懐

電話 03-3351-3208 : MAIL : ict@turtle.gr.jp

【ご出演】（順不同）

資生堂ジャパン株式会社

人事部

石川 さゆり 様

小澤 未季 様

資生堂インタラクティブビューティー株式会社

黒郷 尚寛 様

株式会社日立製作所

研究開発グループ 基礎研究センタ

日立京大ラボ

沖田 京子 様

人財統括本部 人財業務本部 デジタルシステム&サービス勤労部 勤労グループ

寺島 崇央 様

株式会社ラック

サイバー・グリッド・ジャパン 次世代セキュリティ技術研究所

芳村 涼介 様

庄司 勝哉 様

【プログラム】

1 開会挨拶

2 事例紹介

資生堂：～職場ぐるみで取り組む社内のアクセシビリティ～

日立製作所：～社内草の根活動で取り組む ICT アクセシビリティとインクルージョン～

“日立インクルーシブなみらいプロジェクト”

ラック：ニューノーマルな働き方を支えるアクセシブルな ICT 活用

3 パネルディスカッション

テーマ：「インクルーシブな職場の環境づくりのために」

ファシリテーター：伊藤裕美（タートル ICT サポートプロジェクト）

コメンテーター：和田浩一（公益社団法人 NEXT VISION）

【お申し込み方法】

- 1 イベント詳細ページ（<https://www.turtle.gr.jp/ict/info/1449/>）より必要事項を記入しお申し込みください。
- 2 お申し込み時にご登録いただいたメールアドレス宛に後日視聴用の URL をお送りします。

【お問い合わせ先】

認定 NPO 法人タートル 担当：大橋、熊懷

電話 03-3351-3208

MAIL：ict@turtle.gr.jp

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人タートル 担当：大橋、熊懷

電話 03-3351-3208 : MAIL：ict@turtle.gr.jp

公益社団法人 NEXT VISION について

公益社団法人 NEXT VISION は視覚障害がある方が、より自分らしく生きられるためのあらゆる情報支援を行う団体です。NEXT VISION は、研究・治療・ロービジョンケア・リハビリ・社会復帰を一気通貫で解決することによって、視覚障害者の社会復帰を進めてまいります。

【団体概要】

団体名	公益社団法人 NEXT VISION
所在地	神戸市中央区港島南町 2-1-8 神戸アイセンター2F
設立年月日	2014年8月27日 一般社団法人設立 2014年12月24日 公益社団法人へ移行
代表理事	三宅養三（名古屋大学名誉教授・（前）愛知医科大学理事長）
目的	この法人は、視覚障害者の日常生活・就労など社会参加活動等に対する様々な支援、視機能の向上・回復のためのリハビリテーションおよび必要となる技術開発と支援、眼科領域における調査・研究・検査を行うことにより、すべての視覚障害者の福祉向上と科学技術の発達に寄与することを目的とする。

認定 NPO 法人タートルについて

タートルは、人生半ばにおいて、病気やけがで視覚に障害を負った人が、仕事を続けていくためにはどうしたらよいかを模索・支援し、その人の継続就労が実現することを目的として設立されました。

また、見えなくても、見づらくても働くことはできるという事実を広く社会に発信することにより、視覚障害者の安定した雇用の創出を目指しています。

【団体概要】

団体名	特定非営利活動法人タートル
所在地	東京都新宿区四谷本塩町 2 番 5 号 社会福祉法人 日本視覚障害者職能開発センター 東京ワークショップ内
設立年月日	1992年「視覚障害国家公務員の会」として発足 1995年「中途視覚障害者の復職を考える会（通称：タートルの会）」発足 2015年 認定NPO法人として東京都より認可
理事長	重田雅敏
目的	この法人は、国、地方自治体、社会福祉協議会、職業リハビリテーション関係機関、医療機関、社会福祉団体、経営者団体、労働団体等と協力し、中途視覚障害者に対して、就労に必要な情報の提供、相談・支援、働きやすい就労環境の整備等に関する事業を行い、中途視覚障害者の安定した就労を促進し、その経済的自立と福祉の増進に寄与することを目的とする。

タートル ICT サポートプロジェクトについて

2020年より、視覚障害者の職場のICTの環境の課題の解決を目指して、認定NPO法人タートルの中のプロジェクトとして発足。本プロジェクトの2020年12月の調査では、就労している視覚障害者の84.6%が、業務アプリが使えない、リモート環境に接続できない、PDFファイルが読めない、業務用のスマートフォンが使えない等、職場のICTについて何らかの困難を抱えているという実態が浮き彫りになっている。

<https://www.turtle.gr.jp/ict/report/193/>

<お問い合わせ先>

認定NPO法人タートル 担当：大橋、熊懷

電話 03-3351-3208 : MAIL : ict@turtle.gr.jp